

富山型デイサービスとは （共生型）

特定非営利活動法人
デイサービスこのゆびと一まれ

「このゆびとーまれとは」

富山市でH5年7月に産声をあげる



富山赤十字病院の
看護婦3人が始めた
デイケアハウス

赤ちゃんからお年よりまで
障害児も障害者もみんないらっしやい
このゆびとーまれ!

最初の利用者は障害児であった。

このゆびと一まれの理念 「だれもが、地域で、ともに暮らす」



豊かな人間関係の中で人は育ち、喜びも大きい。
一人ひとりが輝く。

みんなが一つ屋根の下で過ごすことは日本の文化である

お年よりは赤ちゃんの顔を見ただけで笑顔がでる



「この子達といると気がはれる」

あたり前・普通の生活をしているだけである。



















「富山型デイサービス」発展の経緯

年度	発展の経緯	富山県の支援策
H5	「このゆびと一まれ」開所 富山県で初めての民間デイサービス	市町村へ県1/2補助(末端で県1/2,市町村1/2) 在宅障害児(者)デイケア事業(H8~25)
H11	「このゆびと一まれ」富山県第1号のNPO法人に	富山県民間デイサービス育成事業(H9~11)
H12	介護保険制度が始まる	この頃、誰でも受け入れる民間デイサービスと行政の柔軟な補助金の出し方を合わせて「富山型」と呼ばれるようになる
H15	富山型デイサービス推進特区の指定(県、3市2町) 全国展開 特区の指定により、指定通所介護事業所で知的障害児(者)の受入が特区内で可能に	富山型デイサービス起業家育成講座の開催(H14~) 福祉車両設置推進事業(H16~)
H18	富山型デイサービス推進特区が全国展開 富山型福祉サービス推進特区の指定(県、2市1町)	富山型デイの施設整備や研修を支援(H17~) 特区の指定により、小規模多機能型居宅介護事業所で障害児(者)の通所サービス、宿泊サービスの利用が特区内で可能に
H22	富山型福祉サービス推進特区の一部が全国展開	通所サービスの生活介護について
H23	富山型福祉サービス推進特区の一部が全国展開 とやま地域共生型福祉推進特区の指定 総合特区	宿泊サービスについて
H25	富山型福祉サービス推進特区の一部が全国展開	児童発達支援、放課後等デイサービスについて
H28	富山型福祉サービス推進特区の一部が全国展開	通所サービスの自立訓練について

富山型デイサービス推進特区(H15. 11月認定)の全国展開

これまで

特区外	指定通所介護事業所
高齢者 身体障害者	○
知的 障害者	×
障害児	×

特区内	指定通所介護事業所
高齢者 身体障害者	○
知的 障害者	○
障害児	○

H18.10月
から

H18. 10月以降

全国	指定通所介護事業所
高齢者 身体障害者	○
知的 障害者	○
障害児	○

富山型福祉サービス推進特区(H18. 7月認定)の全国展開

これまで

特区外	指定小規模多機能型居宅介護事業所
生活介護	×
自立訓練	×
宿泊サービス	×
児童デイ	×

特区内	指定小規模多機能型居宅介護事業所
生活介護	○
自立訓練	○
宿泊サービス	○
児童デイ	○

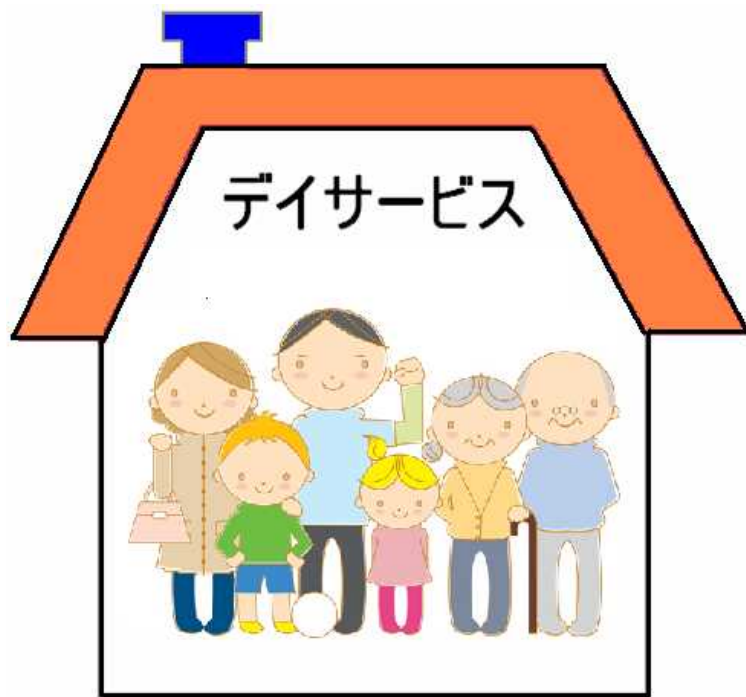
H22. 6月
から順次

H22. 6月以降

全国	指定小規模多機能型居宅介護事業所
生活介護	○ (H22.6以降)
自立訓練	○ (H28.4以降)
宿泊サービス	○ (H23.6以降)
児童発達支援 放課後等デイ	○ (H25.10以降)

富山型デイサービスが制度に

H18年10月1日～



「介護保険の指定業者の場合」

お年より ……(介護保険)

身体障害者……(自立支援法)

知的障害者……(自立支援法)

精神障害者……(自立支援法)

基準該当

宅老所・グループホーム全国ネットワーク

- 1999年設立
- 認知症高齢者ならびに高齢者が、地域の人との関わりの中でこれまでの生活を継続することを支援するため、小規模で多機能なサービスを実践してきた宅老所やグループホームを運営等している団体や都道府県連絡会がベースとなる組織
- 全国の会員との交流・意見交換や、研修、調査・研究等を実施
- 制度などの情報発信やフォーラム、セミナー等も開催
- 会員は全国に約330
宅老所やデイサービスなど。NPO法人や株式会社、任意団体、病院、大学、個人など 様々

共生ディサービス

全国 約1500事業所
富山県下 126事業所

2017年3月現在

富山型デイサービスの理念

- 年齢や障害に関係なく、誰もが地域で共に暮らせる町作りを考える
- 誰も排除しないで包みこむこと

キー・ワード(4つ)

「地域」

「共生」

「当事者本位」

「小規模」

なぜ共生？

- お年よりは子どもと一緒に過ごすことにより、笑顔や言葉が出て体を動かす。

何よりもののリハビリである。

- 子ども達はお年よりに可愛がられ、しつけなど教えてもらう。看取りの場面では、人間の生命の限界を体験する。

お年よりの事故発生は？

- ・このゆびと一まれ（本家）は24年間、共生デイサービスをしている。認知症のお年よりが転倒し骨折したのは一事例のみである。

※デイサービス茶屋は13年間、向いは12年間、事業しているが、転倒などによる骨折事例はない。

国への要望①

- ・1つの事業所内で高齢者と障害者・児が一緒にケアができるようにして欲しい。

(同じ建物の中で、高齢者と障害者・児の部屋を分けたり、パーテーションで区切るような運用がなされないように)

国への要望②

- 定員については、定員の範囲内であれば、1日あたりの利用者は柔軟にできるようにして欲しい。
(18名の事業所であれば、高齢者10名、障害者8名のように予め決めない)